

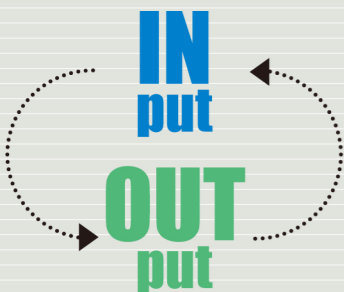
無理なく効率的に学べるオリジナル教材
学習効率を追求したアウトプット教材

記述基礎力養成講座

[全4回] 2時間30分/回

点数を取る為のコツを学ぶ!

記述式問題は、問題に対する解答を40文字程度で記述する形式です。「択一式問題」を解くために身につけた知識を「記述式問題」を解く際にどう活かせばよいのか、点数がとれる答案を書けるようになるためのコツを問題演習を通して得られます。



各回9問、合計36問出題
過去問+オリジナル問題

記述式問題の「過去問」を中心に、記述式問題の「解き方」を確認しましょう。問題文に示されている情報を「図」にしています。どのような事案で、どのようなことを問われているのかを整理しましょう。

問題1 Aは、Bとの間でB所有の甲土地（以下「甲」という。）につき売買契約（以下「契約」という。）を締結し、その後、契約に基づいて、Bに対し売買代金を完済して、Bから甲の引き渡しを受け、その旨の登記がなされた。また、甲については、契約の締結に先だって、BがCから借り受けた金銭債権を担保するために、Cのために抵当権が設定され、その旨の登記がなされていた。この場合において、Aは、Bに対し、Cの抵当権に關し、どのような主張をすることができるか。甲、乙、丙、丁の4つの主張を、それぞれについて、民法の規定に照らし、甲、乙、丙、丁の主張が認められるかどうかを、理由を述べ、記述しなさい。

なお、本問においては、Aは、Cに対する第三者としての主張、Cの請求に応じた代金申請、または、Cに対する抵当権消滅請求は行わないものとする。

（下巻用）

（2019年度 行政書士試験 問題45）

全日本行政書士公開模試

[全2回] 演習:3時間/解説:2時間30分

ファイナル模試

[全1回] 演習:3時間/解説:2時間30分

科目別答練

[全7回] 演習:1時間30分/解説:2時間

インプット⇒答練・模試⇒復習のサイクルで知識力の定着を図る!

知識のインプットをした後は、問題演習を行うことで、知識の定着度合いが明らかになります。演習でのミスは復習の指標となり、原点に立ち返って復習し直すことが更なる力を身につけることに繋がります。

Output

科目別答練
各回30問、合計210問出題
解答必須の基本問題

科目別の演習なので、全科目の学習を終えていなくても大丈夫。解説冊子には「合格講座講義録」の該当ページも記載されているので、復習を効率的に行うことができます。

公開模試・ファイナル模試
本試験同様の模擬試験で、
実力把握・実践力強化!

本番さながらの雰囲気・緊張感の中で行う最後のシミュレーション。ここで弱点を炙り出し、本試験での死角をなくします。

解説冊子が見開きだから、
復習がしやすい!

詳細な成績表で、
自分の弱点を把握できる!

POINT 問題(左)と解説(右)を見開きで対応させています。同時に読み進めることができるので、非常に便利です。また、各問、重要度・難易度を表示。復習の優先度が目で見て分かります。

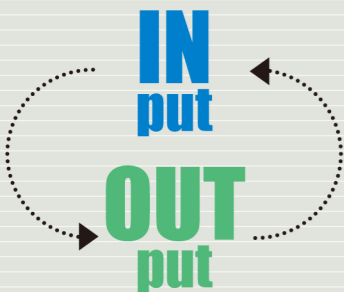
POINT 得点分布図はもちろん、選択肢別の回答率、問題毎の正解率など、復習に役立つ情報が満載です。「正解率」の高いものから優先的に復習して、効率的な学習を実現しましょう!

文章理解特訓講座

[全2回] 2時間30分/回

文章を読み解くテクニックを身につけ、得点源に変える!!

文章理解の問題の解き方を習得する講座です。文章理解の問題に20分も30分もかけてはいけません。文章理解は5分以内で解けます! この講座では解法テクニックをお話ししていくとともに、法令科目の長文問題、多肢選択式問題、記述式問題にも応用できる力を身につけます。



各回14問、合計28問出題
様々な形式のオリジナル問題

「並べ替え」「空欄補充」から「要旨把握」まで、さまざまなタイプの文章理解の問題の解き方を学びます。一般知識科目の基準点(14問中6問)を突破するためには、例年3問出題される文章理解を確実に得点するのが近道です。

問題13 次の文章の要旨として、最も妥当なものはどれか。

偉人の伝記という、ナポレオンとかアレキサンドロスとか、グッドストーンというふうなばかりで、学者のほとんどが書いて、なるほどナポレオンやアレキサンドロスは、偉人であり、壮である。しかし、いかに偉人でもナポレオンがいたり、アレキサンドロスの出すことは出来ない、文化の進まざる時代の物語りとして読むには適していても、修業の科にはならない、グッドストーンのごときといえども、一面について見れば、三人あり得るのみで、しかも大衆的たるは一時一人のみしか存在を許さない。これに反して、科学者や哲学者や芸術家や思想家は、一時代に十人でも二十人でも多く存在するを得。また多く存在するほど文化は進む、ことに科学においては、言葉を用いること少なきが、他に比して著しく世界的に高く、日本での発見はそのまますの発見であり、詩や歌のごとき、外国語に訳すの責もある。

これらの理由により、科学者たるものためには、大科学者の伝記がなくてはならない。しかし、科学者の伝記を書くことは、随分むずかしい、というのは、まず科学者そのものを解くことであると同時に多少文字のあることを要する。面白いかな、著者は自ら編んで、決してこの二つの条件を備えておられるとは思われない。ただ最初の手紙をみると、筆記した手帳も、実験室の日記も、発見の時に科学者の中で、特にフッパダーを導いた理由は、第一に彼は大学教育を受けた人で、全くの丁稚小僧から上ったのだ。大学では家柄とか構えとかいうもの方によることがない、同一でやれるということが明らかになる。また文章はともいえる。次に彼の製本した本も、筆記した手帳も、実験室の日記も、発見の時に

またフッパダーの伝記は決して興味をそそぐという、電報発報機を発見して、随分喜び、義勇をつれて島嶼列島に行き、人口の所でこみ合って喧嘩をやりかけた狂気の発狂は中々かである。偉人の内情をみて、家内にも上り学問にも出ないで、専心研究に従事した時代は感嘆するのにはない。殊に感嘆も無い、ぼんやりと椅子がかりで、西向きに窓の外を眺めつつ目を離し、手に取るごとくこの本をやり、静かに巻頭に静かに閉じると、高潔を築き得ない。

前編に大抵の伝記を述べて、後編に研究の概観を説くことにした。

(出典 愛知敬一「フッパダーの伝」より)

- フッパダーの研究と論文の近代科学に与えた影響の大きさは、他の科学者と比較して、著大な差があるといえる。
- フッパダーを伝記に記すべき理由は、私事を含めて専心研究に従事したためである。
- 自らの失敗を振り返るに際しての苦悶を乗り越えようとしたことが、伝記に残されるべき人物としての重要な資質である。
- 科学者にならうとする者のための大科学者の伝記がなくてはならない。フッパダーは、それにはふさわしい人物である。
- ナポレオンのような偉人が誕生する数は少なく、科学者や哲学者や芸術家や思想家は数多く生まれることができる。それだけ文化は発展する。

インプットからアウトプットまで **オールインワンのパーフェクトコース教材ラインナップ**

教材費は
受講料込み!
追加の費用は
かかりません!

※教材ラインナップの画像は、2019年合格目標向け講座で使用した教材を中心に掲載しております。2020年合格目標講座では表紙のデザインが一部異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※「商法・会社法」「一般知識」の過去問ピックアップはございません。ワーク過去問問題集をご利用ください。

行政書士とは

実践的カリキュラム

オリジナル教材

精鋭講師陣

受講スタイル・サポート制度